



【 鈴木 茂 プロフィール 】

- ・昭和30年生れ。
- ・大石小・中学校、熊谷高等学校、明治大学法学部卒業。
- ・大宮市立（現さいたま市）春里・泰平・指扇中学校教諭。
- ・大石小・中学校 PTA 会長。
- ・全埼玉私立幼稚園連合会理事。
- ・上尾市議会議会報告委員長

【 現在 】

- ・上尾市議会議員（無所属） 総務常任委員会所属、上尾政策フォーラム所属
- ・(学) 浅間台幼稚園園長
- ・上尾私立幼稚園協会副会長。
- ・(社福) 特別養護老人ホーム「パストーン浅間台」理事長

問い合わせ先 後援会事務所 〒362-0073 上尾市浅間台2-18-3
TEL 048-771-7656 FAX 048-774-5880 E-mail info@asamadai.ed.jp
浅間台幼稚園 〒362-0076 上尾市弁財2-5-3 TEL 048-774-1046

みなさんこんにちは。上尾市議会議員 鈴木 茂です。8月31日から9月18日まで上尾市議会定例9月議会が開かれていましたのでその主な内容をご報告させていただきます。

< I 上尾市の将来ビジョンについて >

① 上尾市の人口推計は、年少人口、生産年齢人口、老年人口の推計は、20歳代から40歳代の女性数の推計は？

回答：本市の人口推計は、平成26年に約22万8千人が平成52年に19万5千人になると予測される。14歳以下の年少人口は、平成26年の3万人から平成52年に約1万9千人、15歳から64歳までの生産年齢人口は、約14万3千人から10万9千人、65歳以上の老年人口は約5万5千人から6万7千人に。20歳から49歳の女性の人口は、約4万4千人から3万1千人、約30%減少すると推計している。

② 20歳代～40歳代の若者の転出入は？転出・転入の理由は？

回答：近年男性では40歳代前半、女性では30歳代前半に転出超過の傾向がある。これは子どもの学校入学といった人生の節目に合わせて住み替えることが多いためと思われる。

③ 将来目指す上尾市の人口は、その目標を達成するための政策は？

回答：本市の人口はここ数年をピークに減少に転じ、平成52年には約19万5千人まで減少すると予測されているが、約20万8千人まで減少を緩和することを目指している。この目標を達成するために地域創生総合戦略会議で①安定した雇用を創出する、②出産・子育ての希望を叶える、③健やかな暮らしを守り、魅力あるまちをつくる、という3つの基本目標を掲げ、施策を検討している。

④ 人口減少をくい止めるには、とにかく多くの独身の方に結婚してもらい1人でもよいから子どもを産んでもらうという方法と1人産んだ方には2人、2人産んだ方には3人と産んでもらうという方法がある。そこで上尾市の多子世帯への応援施策は？他の自治体にはどんな施策があるか？

回答：上尾市単独の多子世帯の支援策はない。県と県住宅供給公社が多子世帯向けの中古住宅取得及びリフォーム支援事業があり、70万円を上限に補助金を支給している。県内の他自治体では「プレミアム付商品券」で18歳未満の子が3人以上いる世帯に対して、商品券の割引販売や先行優先販売などを行っているところがある。

⑤ 3世代同居または近居を希望する家庭を応援する事が、若者の定住化や独居老人を無くす、空き家対策にもなると思うが？

回答：三世代の同居または近居に対する支援を行っていく必要がある。総合戦略の中で検討している。

⑥ 「妊活」とは？上尾市では「妊活」をどのように応援しているのか？人口減少を防ぐためにも「妊活」の普及が必要と考えるが…

回答：「妊活」とは、妊娠についての知識を身に付け、自分自身の身体の状態を把握し、妊娠するために前向きに活動する事を表し、協力するパートナーの男性も含まれる。平成24年度より、不妊治療費助成事業を実施している。年間5万円を上限として通算5年まで助成している。助成人数は平成26年度142人。現在「妊活」の普及に関する事業は実施していない。今後妊活から出産・子育てまでの継続した支援が実施できるよう相談体制の充実や普及啓発を図るための取り組みを検討していく。

⑦ 命、育児、家庭の大切さ等は第一に家庭教育の問題だが学校教育でも積極的に取り上げるべきと考える。特に中学生が乳幼児と触れ合う機会を持つ事は大切だと考えるがそのようなカリキュラムはあるのか？

回答：中学生が乳幼児と触れ合う機会については、家庭科の授業で取り扱っている。生徒が幼稚園、保育所等を訪問し直接幼児と触れ合う活動を行っている学校もある。

⑧ 私が初めて一般質問した平成24年6月議会で取り上げた豊後高田市の学びの21世紀塾は下村文科大臣を初めとして視察が相次ぎ学力調査でも大分県内の最上位となり、豊後高田市に住まいを移して子どもを育てる世帯が増えているとの事。上尾市でも教育の面で子育て世代の転入を促進できないか？

回答：上尾市の教育力を高めることは、子育て世帯の転入を促進する一要素と認識しており、現在策定を進めている総合戦略の中で検討している。

浦和というと文教都市というイメージが定着しています。経済的に比較的不自由のない若い親は教育に敏感です。若い親世代の転入を促進するには「上尾市は教育に熱心な街」というイメージを持たせる事が大切です。その為にも多くの議員が提案している学習支援教室等を全市的に展開するなどして教育に熱心な街というイメージ作りに努めるべきだと私は考えます。

⑨ 上尾道路沿道の市街化調整区域を住宅地として開発し、車で通勤する若者をターゲットに駅から距離はあるが安価な住宅地を供給してはどうか？雇用確保から新たな企業立地も必要かと思うが？

回答：市街化区域の見直しは、10年後の将来人口を重要な算定根拠とし、市街地として必要な面積を割り当てる人口フレーム方式を採用している。今後、本市の人口も減少傾向にあること、市街化区域内に宅地化されていない用地が数多くあることから住宅系の用途地域として市街化区域に編入することはできない。埼玉県では、圏央道の開通に伴い、「田園都市産業ゾーン基本方針」を策定し、圏央道沿線における産業集積に取り組んでいる。圏央道のインターチェンジから5Kmの範囲を「田園都市産業ゾーン」として位置付け、インターチェンジ周辺や広域幹線道路の沿道での産業基盤づくりを誘導・支援する事になっている。上尾道路沿道も産業・流通系に特化した土地利用について慎重に進めてまいりたい。

< II 学習支援教室について >

① 現在、上尾市では、学習支援事業をどのような形で行っているのか？

回答：上尾市内での学習支援事業は、県の事業廃止に伴い、平成27年4月から市が事業主体となり、生活困窮者自立支援法に基づく任意事業として、生活保護受給世帯の中学生・高校生を対象とする学習教室を開催している。学習教室は市内の特別養護老人ホームの協力により、東教室・西教室の2か所開設している。

② それぞれの教室の利用状況は？

回答：7月現在で教室利用者数は、中学生21人、高校生9人で学習支援事業の利用率は約35%。昨年度比べて約4ポイント増加した。

③ 対象生徒者の参加率を上げる努力は？

回答: 事業委託団体の担当者が、主に中学生の自宅を訪問し、学習教室で使用している学習プリントなどの教材を直接届けながら、教室への参加を進めている。

④ 主任児童委員・民生委員はこの事業をご存知か？力添えを戴いて利用率を上げる見解は？

回答: 主任児童委員・民生児童委員に対しては、上尾市民生委員・児童委員協議会連合会の地区定例会や生活福祉連絡会にて、事業説明を行っている。担当ケースワーカーが生徒本人と保護者へ直接説明しているが状況により、主任児童委員・民生児童委員の協力を戴きたいと思っている。

⑤ 福祉部門と教育委員会との連携は？担任への周知度は？

回答: 平成27年4月の校長会議にて事業説明と協力依頼を行った。学級担任までの積極的な周知は行っていないが、今後、生徒の進路など学校との連携が必要な場合には学級担任と連携したい。

⑥ 生活保護世帯でない貧困家庭の子どもにも参加を増やす事はできないか？

回答: 学習支援の運営状況を参考に、課題などを整理し、生活保護世帯以外の経済的に厳しい状況にあるひとり親家庭への学習支援についても調整を図っていく必要があると考えている。

子どもの貧困は今、大きな社会問題となっています。とりわけ相対的貧困率はシングルマザーが48.6%で有配偶者(13.7%)より高く、シングルマザーの多くが非正規就業者で相対的貧困率はその52.9%であるとの事です。シングルマザーの子が満足な教育を受ける事ができないとまた貧困家庭を築く事になります。貧困の連鎖を防ぐためにも徐々にでも対象者を広げるよう強く望むところです。

< III 子ども・若者自立支援センターについて >

① 上尾市のいじめ件数は？不登校の件数は？その理由は？

回答: 上尾市のいじめの認知件数は、26年度は小学校で8件、中学校で8件。不登校児童生徒数は小学校で15人、中学校で116人。不登校の主な理由は「不安など情緒的混乱」「無気力」「あそび・非行」など。

② 文科省は不登校対策としてスクールソーシャルワーカーの活用を奨励しているとの事。スクールソーシャルワーカーとはどのような職種で上尾市の現状は？増員の方針は？

回答: スクールソーシャルワーカーは、「いじめ、不登校、暴力行為など生徒指導上の課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて児童生徒の支援を行う」専門的な職である。市では2名配置しており6校からの要請を受け、家庭訪問などを行っている。増員については、学校からの要請状況に応じて検討していく。

③ 中学卒業後のひきこもりの若者の保護者の会は、上尾市に於いて、どのような会がどのような活動をしているのか？

回答: 「不登校の子を持つ親の会 ムーミンの会」という団体がある。「ひきこもっている若者への支援」をテーマに、若者の力を生かす働き方に繋がる援助のシステムを考えながら、子ども・若者相談センターと協働して活動している。

④ 若者の就労支援「静岡方式」といのある事を7月31日の上尾市協働のまちづくり推進事業スタートアップ会議に参加して知った。働きたくても働けない若者に対して市民の力による伴走型就労支援との事。この静岡方式に対する市の支援は？

回答: 「静岡方式」の実施にあたってはマンツーマンに近い人的サポートが必要になる。市民の理解と協力、NPO法人など関係機関の協力があって初めて成り立つシステムである。「ムーミンの会」が10月から就労体験の個別サポートに取り組みますので市としては周知活動など側面的な援助をします。

私はこの会議に参加して、このムーミンの会の一人の方のお話を聞きました。お子さんがひきこもりだったそうです。この会で知り合ったもう一人の引きこもりの子とレストランのバイトを始めたそうです。人と接するのが苦手なのにホールに回されたそうです。しかし以外にもマニュアルがあるので普通にこなせたそうです。これが自信になってやがてコンビニのバイトをし、引きこもりから脱出したそうです。私も不登

校、引きこもりの子は人と接するのが苦手なのだろうから接客業以外の職業が向いているだろうと決めつけていましたが、必ずしもそうではないのだと思いました。とにかく仕事に就いてみる。それを伴走支援する。走りながら考える。複数の方がボランティアで支援する。仕事に疲れたら休む場所としての若者自立支援ルームがある。そのような仕組みができあがれば良いと思いました。今後も継続してこの問題を取り上げていきたいと思っています。

< IV 上平公園中央図書館の謎？ >

今回の議会で2人の議員が図書館移転の問題を取り上げました。その結果おかしな事が分かりました。

表1 候補地比較表

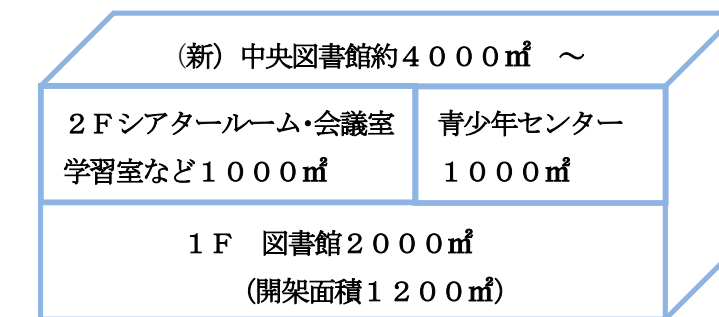
	上平公園(市予定地)	現在地(上町)	上尾駅西口大駐車場
敷地面積(m2)	7,000	2,481	4,380
建築可能床面積(m2)	4,000~5,000(予定)	4,836	8,760
土地購入費	4.2億円	0円	3.3億円
駐車場台数	100台	80台	70台
立地	上尾駅徒歩 ? 分	上尾駅徒歩6分	上尾駅徒歩3分

表2 駐車・駐輪台数調査(平成27年7月25日~31日)「上尾市中央図書館移転計画」の見直しを要求する市民の会調査

調査時間	種別	土曜	日曜	火曜	水曜	木曜	金曜	平均
11時	自動車	36	49	38	36	36	33	21
	自転車	116	142	129	123	105	102	119
14時	自動車	53	46	47	47	50	42	47
	自転車	109	157	115	142	105	112	123
16時	自動車	53	42	50	53	42	40	46
	自転車	137	139	125	130	121	135	131
平均	自動車	47	46	45	46	42	38	44
	自転車	120	146	123	131	110	116	124
駐車場稼働率%		82.4	80.7	78.9	80.7	81.4	66.6	77.1

*「駐車場稼働率」は現在の駐車場台数57台に対するもの。 *見直しを求める市民の会が要望署名を集めています。

*市は上平公園移転理由として駐車台数が100台必要だと述べていますが、現実にはそれ程の自動車利用はなく自転車利用が多い事が分かります。表1で分かる事は上平公園では土地代金が4.2億円かかるが現在地建て替えならば0円です。浦和のパルコの図書館のように殆どの市で作られる中央図書館は、駅前周辺の交通の便の良い場所です。



*新図書館建設に借金を使用します。借金の条件は複合施設にする事。既存の図書館より面積を図書館部分は小さくする事が条件です。よって新図書館1階は2000㎡で現在の図書館より小さくなり2階にシアタールームや学習室で1000㎡、青少年センター1000㎡合計で4000㎡となります。今より広々とした図書館を作るための上平移転だったのでは？

10月31日(土)午前10時~11時半まで鈴木茂と上尾市政を語る会を実施します。場所は浅間台幼稚園駐車場西側事務所(春日2-27-24、普通の一軒家)です。上尾市在住の方と共に上尾市の未来についてお茶を飲みながら語り合いたいと思います。お気軽にご参加下さい。若い方にも市政に対してのご意見を戴ければ幸いです。後援会事務所☎716-7462。平日連絡先は浅間台幼稚園☎774-1046まで。土、日、夜間は自宅771-7656まで。